

2023 年 6 月 28 日

各 位

SBS 東芝ロジスティクス株式会社

全日本物流改善事例大会 2023 において 「最優秀物流改善賞」を受賞

SBS 東芝ロジスティクス株式会社（社長：金澤 寧、本社：東京都新宿区）は、5 月に公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（以下：JILS）が主催する「全日本物流改善事例大会 2023」において、最も優れた改善事例に贈られる「最優秀物流改善賞」を受賞し、6 月 28 日に表彰式が行われました。



今回受賞した包装・設備技術グループは『DFL 思考 × 包装デザインアップデートによる顧客価値共創～工業用電子管におけるコスト低減、作業性向上、サステナビリティを追求～』と題し、従来の箱はコスト高・作業工数増・環境負荷増（プラ使用）が主な問題点であることに着目。DFL 思考にて顧客製品仕様を制約条件と捉えて協働し、包装デザインのオール段ボール化・コンパクト化に取り組んだ結果、包材費 65%減、作業工数 30%減、プラスチック 100%減（脱プラ）、CO2 量 25%減を実現しました。

本大会における当社の受賞は、昨年の「優秀物流改善賞」、一昨年の「物流合理化努力賞」に引き続き、3 年連続となります。包装・設備技術グループの戸田 太地は「当社の強みのひとつである DFL アプローチでお客様と協働することで、付加価値のある環境負荷低減・持続可能性を実現できた。今後も、包装改善を切り口として様々な業界のお客様とコラボレーションすることで、コスト削減はもとより、昨今の課題である CO2 やプラスチック、作業負荷の削減などに貢献できるよう邁進していきたい。」と受賞の喜びを語りました。

また、受賞には至りませんでしたが同大会においては当社関西支店が『家電量販 EC センターの成長に合わせた現場改善』をテーマとし、顧客の EC 成長計画に合わせて対応力の強化が必要となった小物エリアについてピッキング・梱包・繁忙期の課題に対して改善を行い、現場と一体となって目標生産性を達成した取り組みを発表しました。



JILS 大橋 徹 会長(右)と戸田 太地(左)



当社代表の金澤 寧(左)と戸田 太地(右)

当社は今後も日々の改善活動を継続的に行い、生産性の向上を図るとともに最適なソリューション提供によるロジコスト低減を目指してまいります。

以 上

■ご参考

＜SBS東芝ロジスティクス株式会社 概要＞（2022年12月期）

本社住所：東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー25階

代表者：代表取締役社長 金澤 寧

設立：1974年10月1日

親会社：SBSホールディングス株式会社（持株比率 66.6%）

資本金：21億28百万円

売上高：732億6百万円（単独）

従業員数：753名

関連会社：TLロジサービス(株)

事業内容：倉庫業、貨物利用運送事業、機械器具設置工事業、とび・土工工事業、通関業
航空運送代理店業、物流コンサルティング

URL：<https://www.sbs-toshibalogistics.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

SBS東芝ロジスティクス株式会社 総務部

TEL：03-6772-8201（代表）／URL：<https://www.webcoms.jp/sbstlog/contact/>

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。